

2025

5/3 土



5/25 日

仙台会場

book cafe 火星の庭「火・水曜日」

石巻会場

石巻まちの本棚「火・水・木・金曜日」



森田具海撮影 半分に切ったみかん、畑／明神町 2021年

森田具海 写真展

ここで眺める、水俣 そして能登

トークイベント

5月3日(土)

「石巻から考える水俣のこと、能登のこと」
登壇者 森田具海・小田原のどか(彫刻家・評論家・本展企画者)

5月4日(日)

「仙台から考える水俣のこと、能登のこと」
登壇者 森田具海・山内明美(歴史社会学) 司会 小田原のどか



森田具海撮影 キリコ祭りの特設会場、蛸島漁港／蛸島町 2024年

2024年8月、九州・福岡を拠点とする出版社「弦書房」から、森田具海の初めてとなる写真集『ここで眺める水俣 あとから来る者たちの場所』が発売されました。本書の刊行を記念し、「石巻 まちの本棚」と「book cafe 火星の庭」の2会場にて、森田具海写真展「ここで眺める、水俣 そして能登」を開催します。

1994年、京都生まれの森田は、大学在学中から水俣に通い、東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了後、水俣に拠点を移しました。移住者として地域と関わりながら、6年にわたって水俣で撮影した50カ所以上の写真と、石牟礼道子らの文章、そして森田自身のエッセイが『ここで眺める水俣 あとから来る者たちの場所』にはおさめられています。

2024年9月、森田は、写真や映像記録を行うチームの一員として、能登半島地震の傷跡が残る能登を訪れました。能登豪雨の発生は、それから一週間後のことです。本展では、森田が撮影した水俣の写真とともに、能登の写真も展示されます。

石巻、仙台、そして水俣、能登。移住者や来訪者という「あとから来る者たち」にも向けられた森田の写真を通じて、いっけん遠いように思われる場所の記憶がつながり、出会い直すための機会となることを期待し、本展を企画します。(本展企画者:小田原のどか)

森田具海 写真展「ここで眺める、水俣 そして能登」

2025年5月3日(土)～5月25日(日)

写真展

仙台会場

book cafe 火星の庭 (仙台市青葉区本町1-14-30-1F)

11:00-18:00 火・水曜休 入場無料

仙台駅から徒歩15分、地下鉄「勾当台公園駅」から徒歩10分

石巻会場

石巻まちの本棚 (石巻市中央2-3-16)

11:00-18:00 火・水・木・金曜休 入場無料

石巻駅から徒歩10分

主催:book cafe 火星の庭、石巻まちの本棚 企画協力:小田原のどか

関連イベント

石巻会場 (石巻まちの本棚)

トークイベント

「石巻から考える水俣のこと、能登のこと」

2025年5月3日(土) 18:00-19:30 *30分前開場

登壇者 森田具海、小田原のどか(彫刻家・評論家)

定員20名 要予約

参加費1500円 [飲み物・水俣産の和紅茶付き]



[石巻]
予約フォーム

仙台会場 (book cafe 火星の庭)

トークイベント

「仙台から考える水俣のこと、能登のこと」

2025年5月4日(日) 18:00-19:30 *30分前開場

登壇者 森田具海、山内明美(歴史社会学)

司会 小田原のどか

定員30名 要予約 参加費1500円 [飲み物付き]



[仙台・トーク]
予約フォーム

茶話会

5月5日(月・祝) 17:00-18:30

定員10名 要予約

参加費1000円 [水俣産の和紅茶付き]

*水俣の和紅茶をいただきながら、

作家を囲む茶話会スタイルのイベントです



[仙台・茶話会]
予約フォーム

森田具海 (もりた・ともみ)

1994年京都生まれ。写真家。2019年、水俣に拠点を移して暮らしながら、水俣湾の埋立地や入江、岬の風景などの記録をつづけている。主な展覧会に、KYOTOGRAPHIE 2018「Sanrizuka - Then and Now-」(堀川御池ギャラリー、京都 2018)、「琵琶湖と水俣湾 祈りの光景」(湖北観光情報センター 旧四居家住宅、滋賀 2024)、「ここで眺める、水俣」(つなぎ美術館、熊本 2024)「ここで眺める、水俣 そして能登」(Studio 04、東京 2025) などがある。

こ
こ
で
眺
め
る
、
水
俣
そ
し
て
能
登